

第26回腸内細菌学会学術集会 (現地開催予定)

■メインテーマ：次世代へ加速する腸内細菌研究

～マイクロバイオームの生理機能解明とその制御～

■大会長：岡田 信彦（北里大学）

■会 期：2022年7月7日（木）・8日（金）

■会 場：タワーホール船堀（東京都江戸川区船堀 4-1-1）

■事前参加登録：事前参加登録期間：2022年3月1日（火）～6月20日（月）

3/1～5/31：会員 7,000円 一般 11,000円 学生 1,500円（事前登録）

6/1～6/20：会員 8,000円 一般 12,000円 学生 1,500円（事前登録）

※当日参加は、会員 9,000円 一般 13,000円 学生 2,000円

■大会ホームページ：<https://bifidus-fund.jp/meeting/index.shtml>

■お問い合わせ先：公益財団法人腸内細菌学会事務局

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-24-12

TEL: 03-5319-2669 FAX: 03-5978-4068 e-mail: jbf@ipecc-pub.co.jp

※開催方法・プログラムは変更になる可能性がありますのでご了承下さい。

【7月7日（木）】

- 9：55～10：00 開会の挨拶 大会長 岡田 信彦（北里大学）
- 10：00～12：30 一般演題A 口頭発表（若手枠）※優秀発表賞選考対象演題
一般演題B 口頭発表（一般枠）
- 13：30～14：30 海外特別講演（大ホール）
Andreas J. Bäumlér (University of California Davis)
“The Microbiota and Gut Homeostasis”
- 14：30～15：20 特別講演（大ホール）
植松 智（大阪公立大学/東京大学医科学研究所）
「Dysbiosis 関連疾患の新規治療法の開発」
- 15：40～16：30 研究奨励賞授賞式および受賞講演
- 16：45～17：45 一般演題A ポスター発表（1F 展示ホール）
- 18：00～19：30 情報交換会（2F 福寿・桃源）※予定
※諸般の事情により、中止になる場合がございます

7月7日（木）小ホール

13：30～15：30 市民公開講座『くずりと腸内細菌』（事前申込制）

・小林 拓 (北里研究所病院)

「炎症性腸疾患の最新知見 ―くすり・食事・腸内細菌―」

・角田 卓也 (昭和大学医学部)

「腸内細菌とがん免疫療法 ―食物繊維発酵腸内細菌が治療効果を決める?―」

【7月8日(金)】

9:30 ~ 10:20 一般演題B 口頭発表 (一般枠)

10:20~12:50 シンポジウム1『マイクロバイオームの生理機能』

松本 光晴 (協同乳業株式会社研究所)

「腸内マイクロバイオーム由来ポリアミンの生理機能」

小川 順 (京都大学大学院農学研究科)

「マイクロバイオームの代謝機能を介した食品成分の潜在生理機能発現」

新 幸二 (慶應義塾大学医学部)

「長寿に關与する腸内細菌の探索」

笹部 潤平 (慶應義塾大学医学部 薬理学教室)

「アミノ酸のキラリティによる免疫調節機構」

佐々木伸雄 (群馬大学生体調節研究所)

「オルガノイドが紐解く消化管の複雑系」

13:50~16:20 シンポジウム2『マイクロバイオームの制御と健康』

金 倫基 (慶應義塾大学薬学部)

「マイクロバイオームモジュレーターによる疾患制御」

新藏 礼子 (東京大学定量生命科学研究所)

「リコンビナントIgA抗体によるDysbiosisの治療」

大谷 直子 (大阪公立大学大学院医学研究科)

「腸内細菌叢と肝がん」

大野 欽司 (名古屋大学大学院医学系研究科)

「パーキンソン病の腸管神経叢起源説と腸内細菌叢の關与」

石川 大 (順天堂大学医学部)

「腸内細菌叢移植の現状と展開」

16:20~16:30 閉会の辞